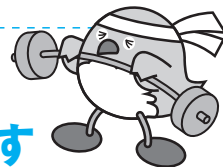


国東市は第63回国民体育大会 ウエイトリフティング競技会の開催地です



チャレンジ! おおいた国体

ここから未来へ 新たな一歩 2008 第63回国民体育大会

国民体育大会の開催に向けて 県民体育大会のウエイトリフティング競技会が 国東市で開催されました

9月16日(土)～17日(日)に、第59回大分県民体育大会のウエイトリフティング競技会がアストくにさきアグリホールで開催されました。

午前9時45分から開会式が行われ、出場選手が国体大会歌「若い力」の行進曲に乗せて入場。主催者を代表して大分県ウエイトリフティング協会会長の吉田忠智県議会議員が「国体会場となるこの会場で行われる県体を大きな経験にして、国体に向けて万全の準備体制を整えていきましょう。」とあいさつ。地元を代表して森正二助役が「ようこそ、国東市へ。この大会を通して友情とふれあいの輪を広げ、国体開催に向けた機運をさらに盛り上げていきましょう。」と歓迎のことばを述べました。

この後、兵庫国体のウエイトリフティング競技94kg級に出場する別府市の武田雄大選手が力強く選手宣誓をして2日間にわたる競技が始まりました。

今年の県体の同競技には県内の11郡市・71名の選手が参加。56kg級から105kg級超級までの8階級に分かれて、日ごろ鍛えた力と技を競いました。

開会式の後に行われた56kg級には、昨年からウエイトリフティング教室に通い競技を続けている城崎中学校3年の藤原裕平君と寅丸大介君もオープンで競技会に参加、バーベルが挙がると会場から盛んな拍手と声援が送られました。



▲競技のようす



▲選手宣誓をする武田雄大選手(別府市) ▲歓迎のことばを述べる森助役

2日間にわたり熱戦を繰り広げた結果、各階級でまんべんなく得点を重ねた別府市が9年ぶりの優勝を果たしました。準優勝は大分市。第3位は日田市でした。

なお、国東市の高見春生選手(城崎中)がマスターズ(40歳以上)77kg級で見事優勝し、初めての地元開催に花を添えました。

ウエイトリフティングの競技方法

ウエイトリフティング競技にはスナッチとクリーン&ジャークの2つの種目があり、それら2つの試技をそれぞれ3回行い、各種目のベスト記録の合計重量を各階級ごと

に競います。国民体育大会での男子の階級区分は軽重量のほうから順に、53kg級、56kg級、62kg級、69kg級、77kg級、85kg級、94kg級、105kg級、+105kg級の9階級となっています。

●チャレンジ! おおいた国体についての問い合わせは
「チャレンジ! おおいた国体」国東市実行委員会
国東市 国体推進室内

TEL 0978-72-0354
E-mail:kokutai-suishin@city.kunisaki.lg.jp